

わたしたちのまち

未来の南越前町に夢と

希望を乗せて

新しい町「南越前町」を担う子どもたちに、地域の未来や自分の将来に目を向け、町への夢や希望を考えてもらおうと町内の小、中学生を対象に図画作文コンクールを行いました。
その結果、次の方々が入賞されました。

「未来のみなみえちぜん」町内小・中学生図画作文

コンクール入賞者発表

小学1・2年生の図画の部

最優秀賞

網田 浩人さん(河野小2年)



優秀賞

今村 蓮さん(南条小1年)



臼井 晴菜さん(南条小2年)



ひとこと

この絵は、南越前町の明るい未来を想像して描きました。いつまでも、南越前町が残ってほしいし、みんなが仲良くできたらいいなあと思っています。



ひとこと

ジェットコースターが大好き。町の中をジェットコースターに乗ってどこでも行けるようになるといいな。



ひとこと

町の中にいろんなお店がたくさんできるといいな。そして友達と好きな物が買える町になるといいな。

小学3・4年生の図画の部

最優秀賞

岩居 洋輝さん(湯尾小4年)



優秀賞

歌門 孝太さん(今庄小3年)



ひとこと

僕は、昆虫が好きです。南越前町には、博物館がないので、クワガタやカブトムシなどを集めて見る場所ができるといいと思っています。



ひとこと

広い南越前町なので、みんなが行き来できると思います。線路で町をぐるりとつなぎました。そして365スキー場には Gondola つながります。真ん中には大きな球場があって、みんなで大野球大会をしたいです。



山田 隼史さん(今庄小3年)

ひとこと

南越前町のマークの「み」の字がすごく気に入っています。みんなできつまでも南越前町のマークを囲むように、ずっと南越前町が残ってほしいです。



佳作

・小川 晃揮さん(南条小3年)
・前田 実咲さん(南条小4年)
・木津 純菜さん(河野小4年)

・上田 美有羽さん(南条小4年)
・落井 空斗さん(湯尾小4年)

小学5・6年生の作文の部

最優秀賞

「未来の南越前町」



北田絵莉子 さん
(南条小6年)

な笑顔で元気に暮らす町」にしたいです。

平成十七年一月一日、南越前町が誕生しました。私は、はじめ、合ペいに反対でした。その理由は、大好きな南条町がなくなるのがさみしかったからです。しかし、合ペいをしてよかったなど、思えるようになりまし。旧河野村は、海があり、景色がとても美しいです。旧今庄町は、宿場町として栄え歴史のある場所がたくさんあることを知りました。このように南越前町が、とても自然豊かな町で、歴史深い町であることをほこりに思うようになりました。そして、もっともつとよい町にするために私は三つのことを考えました。

二つ目は自然を大切にすることで。南越前町は自然が豊かで春夏秋冬と季節の変化を通じて感じる事ができます。この美しい山や川や海をいつまでも大切にしたいです。また、今よりも、もっと緑を増やして、もっとみんなに自然を大切にしたい気持ちを持つてほしいです。

まず一つ目は、明るくて、元気な町にすることです。「近所の人や友達に元氣なあいさつをする町、みんな笑顔で元気に暮らす町」にしたいです。

三つ目は活力ある地域産業を育てる町です。私が考えたのは、観光についてです。合ペいをして三つ自慢できる場所があります。南条のあざやかな色をした花はす、今庄の楽しいスキー場、河野の美しい海。これら三つを、アピールして、もっと観光地として有名になり全国各地からお客さんが来るといいなと思います。

最後に未来に向かって南越前町が発展するために一番大切なことは、これから大人へと育っていく私たちが心を一つにして、協力し助け合っ

て、この町を大切にしていくなことだと思います。私は、南越前町が大好きです。

優秀賞

「ぼくたちの南越前町」



城野 順哉 さん
(湯尾小5年)

す。刺身もとてもおいしいです。冬には水仙の花が咲きます。水仙の花はとてもきれいで良いにおいがあります。

今年一月一日に、今庄町・南条町・河野村がひとつの町になって南越前町に生まれかわりました。でも、ぼくの心の中ではまだひとつになつていないように思えます。それは、ぼくがまだ他の地区のことをよく知らないからです。そこで、三つの地区の良いものにどんなことがあるか考えてみました。

まず、ぼくの町今庄にはそばがあります。田んぼいっぱい広がる白いそばの花は、とてもきれいです。そのそば粉で作ったおばあちゃんのおそばは、とてもおいしいです。次に、南条について考えてみました。夏に咲くはすの花は大変きれいです。でも、ぼくは夏祭りのダックレースと花火の方が好きです。最後に、河野について考えてみました。河野といえば何といっても海です。河野の海はとてもきれいで魚がいっぱいいます。

ぼくは三つの地区の良いところについてこれくらいしか分かりませんが、調べればほかにもっと良いところがいっぱいあると思います。もっと、他の地区のことを知りたいです。

ぼくは野球をしています。南条や河野地区の友達と試合をすることがあります。負けてくやしいこともありますが、他のチームの人にぼくの名前が呼ばれるととてもうれしいです。だから、学校でもっともつと他の学校との交流行事をふやして欲しいです。そして、他の地区の友達をふやしたいです。その新しくできた友達からその地区のことを教えてもらいたいです。もちろんぼくの自分の住んでいる地区を教えてあげようと思います。ぼく達が、他の地区のことをもっともつと分かってあげれば、本当に「ぼくたちの南越前町」になっていくと思います。

中学1〜3年生の作文の部

最優秀賞

「心のバリアフリーに富んだ町」



右近真紀子 さん
(河野中2年)

新しく誕生した「南越前町」のいち町民として私は思った。「これから、いったいどのような町に発展していくのだろうか。」

と。その中には不安と期待とが交錯していた。でも、とりわけ期待の方が大きかっただろう。

まだまだ合併したばかりの町だが、これから未来に向かって町民の手で明るい未来をきり開いていくのだらうと町民皆が願っているのだらう。そして町民一人一人が、未来の南越前町を頭へえがき生活をしていくことだらう。そして、私もそのなかの一人であるということは確かなのだ。

そんな私も、子供ながら理想というものはもちあわせている。：私の理想の町は、やはり「誰もが居心地よく住みやすい町」が私の理想とする町だ。

さて、理想を現実にするにはどうしたらよいか。理想を理想だけで終わらせないためにはどうしたらよいか。私は考える。自分自身の住みやすい町を。家族の住みやすい町を。高齢者の方々の住みやすい町を。障害をもっている人達の住みやすい町を。

ところで最近、障害者、高齢者の方々に勝手がいいようにとバリアフリーに富んだ施設を目にすることが多い。このバリアフリーで救われている人も多いであろう。しかし、私は見た目だけ、外見だけが良くなればよいとはとても思えない。本当に障害者、高齢者の方々が望んでいるのはもっと別のことではないだろうか。今、障害者、高齢者の方々が必要としているのはもっと他にあってはならないだろうか。それは、高齢者の方々、特に障害者の方々に偏見、差別する人間達の心の変化だと私は思う。つまり、施設はほとんどバリアフリー化しているが、それに伴い、不自由なく暮らしている私達の心のバリアフリーが全く富んでいないのが問題なのだ。

(6頁につづく)

優秀賞

「未来の南越前町」



齋藤 真希 さん
(今庄小6年)

私は、小さいころから父につれられてうら山に散歩に行きます。雪がとけ、春になると辺り一面カタクリの花畑が広がっています。毎年その花畑を見るのを楽しみに待ち望んでいます。

夏休み前に、家族で南条へはすの花を見に行きます。まるでかさにもなりそうな大きな葉っぱとピンクの花を見てその美しさにいつも心を打たれます。

秋には、河野の海岸に魚つりに出かけます。短いさおに、えさをつけてあじをつりました。6月の梅まつりやあらかなみフェスタにも出かけました。

冬になると、私は3才からスキーに行っています。今では、全部のコ

スを上手にすべりおろすことができます。

私にとってこの町は豊かな自然に恵まれていて、季節によって様々な楽しみがある町だと思います。でも、もっと住みやすい町にするために、環境を守ることが挙げられます。例えば、ゴミのポイ捨てはしないと。一人一人が気をつけて、今以上に住みやすくなるんじゃないかと思っています。

もう一つ挙げられることは、自然を守ることです。例えばカタクリの花をとったりしてはいけないと思います。花をつんだりすると、だんだん量が減って、最後にはなくなってしまうかもしれません。だから自然を守っていかなくてはならないと思います。

このように、「環境」「自然」を守って、もっともつと住みやすく、快適な町になってほしいです。

佳作

・山内 悠衣さん(南条小5年)
・伊藤 弘紀さん(南条小6年)
・向山 みゆさん(河野小6年)

・山本 晃大さん(南条小5年)
・谷口 優紀さん(湯尾小6年)

もし、両手いっぱい大きな荷物をもっているお年よりの方が大変そうに歩いていたらあなたなら手をさしのべますか。

もし、目の不自由な方が歩いていてその前に自転車をとめてあった場合、あなたは声をかけることができますか。

たいていの人はきつと「怖いから」などという不純な理由から行動を起こすことができないのではないだろうか。そう言う私も行動を起こすことのできない一人なのかもしれない。でも、もし、その一線をこえるほんの少しの勇気があれば、もつともつともつと今よりはるかに高齢者、障害者の方々に明るい未来が見えてくるのではないだろうか。そして誰もが居心地のよい住みやすい町になるのではないだろうか。町民一人一人の心のバリアフリーが町づくりの大進歩となることをいち町民の私は心から願う。



優秀賞 「すばらしい町にするために」



的矢 惇子 さん
(南条中3年)

今年からついに、南条町と今庄町と河野村は合併して南越前町という名前になりました。年賀状の住所に南越前町と書くのは変な感じがしますが、今ではだいたいぶなじんできました。「あなたはどんな花が好きか」というすばらしい南越前町讃歌もできました。

私は南越前町に、合併する前の町よりもっとすてきな町になってほしいと思っています。でも、どんな町になるかは、町民の私たち次第です。私たちは、南越前町をよりよい町にするために、考えて努力していくべきだと思います。もともと、南条と今庄と河野もそれぞれすばらしいところを持っていたので、合併してできた南越前町はすばらしいところがたくさん集まった町だと思えます。だから、そのすばらしいところを最大限に引き出したり、他の良いところを新しく見つけてみたりできると思っています。

私は二つのことを考えました。一つ目は、南越前町での何か大きなイベントをすることです。「今は合併したばかりで、同じ町内になったのに知らない人がたくさんいる」という人がたくさんいます。それに、夏祭りなどはもとの三つの町それぞれで行っています。なので、町内の交流のために、こういうイベントはやった方がいいと思います。それに人数は多い方が盛り上がりやすい。

二つ目は、他の町とも協力し、助け合うことです。福井では、今までに重油流出や集中豪雨などのボランティアを多く必要とする事故や災害がありました。そんなときに、南越前町から、すすんでボランティアに行く人が増えるとすばらしいと思います。そこで、南越前町で大きなボランティアのグループのようなものを作るといいと思います。一人ではボランティアに行きづらい、という人もいるかもしれないし、町全体でボランティアに取りくむのはとてもすばらしいことだからです。

あと、小浜には、らち被害者の地村さん夫妻がいらっしやいます。同じ福井県として、らち問題について南越前町にできることも、しっかりと



考えてみるべきだと思います。これらが、私の考えです。二つとも、旧南条町、今庄町、河野村でそれぞれにやるのではなく、南越前町でやる、ということなんです。最初に書いたように、町を良くするアイデアが出て、行動しなければ何にもなりません。すばらしい南越前町にしていくためにも、私にもできることをやってみようと思います。

優秀賞 「南越前町への提案」



城野 克宜 さん
(今庄中2年)

私たちは、中学一年の二学期に、総合的な学習の時間を中心として、南越前町についての調査活動を行いました。そのテーマは《南越前町を便利で自然豊かな町にしよう》自分たちの目で見た南越前町誕生》。私はまさに、このような町になってほしいと考えています。

私たちが行った調査活動の内容は、まず、南越前町についてのアンケートに取り組みました。次に、今庄・南条・河野の三つの班に分かれ、それぞれ事前調査をしました。そしてその調査結果をふまえて、それぞれ地域取材・体験活動を行い、最後にまとめをしました。

この調査活動の結果を見ると、やはり「自然豊かな町になるといい」「そうやってほしい」という意見が多数ありました。しかし、よく考えてみると、今の南越前町にはすでに、多くの自然があります。周りには山が広がり、川が流れています。大き

な海が広がっています。そして、シーズンごとに、田が黄金色に染まった花がきれいに立ち並んでいたり、水仙がいい香りをただよわせていたりすること、この南越前町の自慢です。これだけの自然がありながらも、自然豊かになってほしいのです。これからの生活に必要なこと、それは、今の自然を減らさないようにするために、ゴミを減らすなどといった最善の努力をすること、その上で、自然を豊かにしていくことが大切だと考えています。

そして、もっと便利な町になってほしいという意見も目につきました。その中にも、店を増やしてほしいという意見が多かったのですが、一番気になるのは、交通の面です。私たちが河野に行く時、また、河野の人たちが南条・今庄に来る時に、武生を通らなければいけないのです。同じ一つの町なのだから、つながっていないといけないはずだ、す。だからこそ、今、計画している「ホノケ山トンネル」の早期開通をお願いしたいです。開通することにより、交通が便利になり、町民の交流の場が増えるきっかけになるはずだと考

えています。

「自然」と「便利」を共存していくことは、簡単なようで難しいことだと思えます。しかし、これから十年・二十年経っていく中での課題の一つとして、この問題を取り上げてほしいと考えています。今後、私たちが大人になった時の南越前町を楽しみに生活していきたいです。



佳作

- ・門前美奈代さん(南条中3年)
- ・北村 勇樹さん(今庄中2年)
- ・新谷 直広さん(河野中1年)
- ・寺下 貴晃さん(河野中1年)
- ・北野 靖之さん(河野中2年)

審査を終えて

南越前町教育長 鈴木 和男

この度、合併記念事業の一つとして町内の小、中学生から「未来のみなみえちぜん」というテーマで図画と作文を募集したところ、図画は小学一、二年生で二百四十二点、小学三、四年生で二百四十一点、作文は小学五、六年生で二百四十六点、中学一〜三年生で三百九十七点の応募がありました。増澤町長を始め、各学校の校長先生方と慎重に審査させていただいた結果、各賞が決定しました。しかし、入賞されなかった作品の中にも大変良くできていたものもあり、なかなか優秀つけ難く、審査員も頭を悩ませた次第です。

図画の部では、花いっぱいのもちつきくりや、山・海・里が電車やバスで結ばれた夢のある町が描かれていました。作文の部では、素晴らしい町にするために様々な提案が出されています。自然を大切にすることはもちろん、誰もが住みやすい町にするために、明るく元気で心と心が通じる町にしようとする多くの皆さんが書いています。そのためにも小さな小さなことでも一人ひとりが「行動」を起こそうという、前向きな提案に、感動しながら読ませていただきました。

小、中学生の皆さんがいつまでも新鮮な夢や希望、そして行動するという心を持ち続け、南越前町の担い手として、ますますな目で健やかに成長されることを心から期待しています。